

# かながわ水源環境保全・再生の 取組の現状と課題（案）

— 水源環境保全税による特別対策事業の点検結果報告書 —  
（第 2 期・平成 27 年度実績版）

「どのような事業か？」～「実績は？」～「成果は？」



水源環境保全・再生  
イメージキャラクター  
しずくちゃん

平成 29 年 月

水源環境保全・再生かながわ県民会議

# 目 次

## I はじめに

- はじめに…………… 0-1
- 第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画の概要…………… 0-8

## II 12の特別対策事業の点検結果の総括

- 12の特別対策事業の総括（まとめ）…………… 0-11
- 事業費実績及び進捗状況一覧…………… 0-12

## III 各事業の点検結果

- 1 水源の森林づくり事業の推進…………… 1-1
- 2 丹沢大山の保全・再生対策…………… 2-1
- 3 溪畔林整備事業…………… 3-1
- 4 間伐材の搬出促進…………… 4-1
- 5 地域水源林整備の支援…………… 5-1
- 6 河川・水路における自然浄化対策の推進…………… 6-1
- 7 地下水保全対策の推進…………… 7-1
- 8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進…………… 8-1
- 9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進…………… 9-1
- 10 相模川水系上流域対策の推進……………10-1
- 11 水環境モニタリングの実施……………11-1
- 12 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み……………12-1
- 「県民会議委員の個別意見」……………13-1
- 「施策調査専門員会の検討内容」……………13-16
- 「県民フォーラム意見について」……………13-18
- 「県民フォーラム等における県民意見の取りまとめ」……………13-26

## IV 付表

- 平成24～27年度市町村別事業実績一覧（市町村事業）……………14-1
- 第4期水源環境保全・再生かながわ県民会議委員名簿……………14-5

## V 付録 <総合的な評価（中間評価）報告書（H27.8）より抜粋>

- 水源環境保全・再生施策の経緯と特徴……………15-1
- かながわの水源環境の現状……………15-4
- 総合的指標（2次的アウトカム）の検討……………15-9
- 評価結果の全体総括……………15-12

# I はじめに

# はじめに

## 1 点検結果報告書作成の経緯・趣旨

### (1) 県民会議の役割

「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」）は、水源環境保全税を財源に行う施策に県民意見を反映させるために県が設置した組織。

一般県民・学識者など24名からなり、「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」（以下「5か年計画」）に位置付けられている12の特別対策事業について、実施状況を点検・評価し、その結果を県民に分かりやすく情報提供する役割を担っている。

また、県民会議の下部組織として、専門的知識が必要な事項について検討する2つの専門委員会、県民意見の収集や情報提供等の役割を担う3つの作業チームが設置されている。

- 《所掌事項》○ 水源環境保全・再生施策の評価及び推進に関すること。  
○ 水源環境保全・再生施策の県民への情報提供に関すること。

### (2) 経緯・趣旨

第1期の県民会議委員（任期：平成19～20年度）は、平成21年3月に当該期間を総括する趣旨で、各特別対策事業とその最終目標である「良質な水の安定的確保」という効果を評価する道筋を「各事業の評価の流れ図（構造図）」として整理して、平成19年度の事業実績を中心に点検結果報告書を作成した。

第2期の県民会議委員（任期：平成21～23年度）は、平成21～23年度の各年度において、前年度の事業実績の更新を中心に中間の報告書を作成した。

第3期の県民会議委員（任期：平成24～25年度）は、第1期5か年計画の取組が平成23年度をもって終了したことを踏まえ、平成25年3月に、5年間の取組全体について総括する報告書を、平成26年3月に、第2期5か年計画初年度となる平成24年度の事業実績を中心に報告書を作成した。

第4期の県民会議委員（任期：平成26～28年度）は、第2期5か年計画2年目、3年目となる平成25年度、平成26年度の事業実績を中心に報告書を作成した。

## 2 今回の点検結果報告書（第2期・平成27年度実績版）の作成方針

今回の点検結果報告書は、第2期5か年計画4年目の平成27年度及び4年間の累計の取組実績に関して点検・評価を行い、その結果を報告書として作成する。

## 3 本書の構成について

### I はじめに

県民会議の役割、点検結果報告書の作成の趣旨、評価の方法・構造などと、第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画の概要について記載している。

### II 12の特別対策事業の点検結果の総括（まとめ）

アウトプット及び1次的アウトカムを中心とした12事業の点検・評価結果の総括、事業費実績及び進捗状況一覧について記載している。  
について記載している。

### III 各事業の点検結果

アウトプット及び1次的アウトカムを中心とした点検・評価の結果について、県民に分かりやすく情報提供するため、次のとおり、12の特別対策事業毎に3部構成としている。

i どのような事業か

事業の概要について理解していただくため、事業のねらいや目標、事業内容、事業費について、5か年計画の内容を記載している。

ii 平成27年度（5か年計画4年目）の実績はどうだったのか

平成27年度及び4年間の累計の取組実績について、グラフや写真等を用いて分かりやすく示すとともに、具体的な事業の実施状況を記載している。

iii 事業の成果はあったのか（点検結果）

水源環境保全・再生施策の各事業の実施状況について検証するため、点検・評価の仕組みに基づき、①事業進捗状況、②モニタリング調査結果、③事業モニター意見、④県民フォーラム意見の4つの視点から評価するとともに、総括コメントを作成して点検を行った。

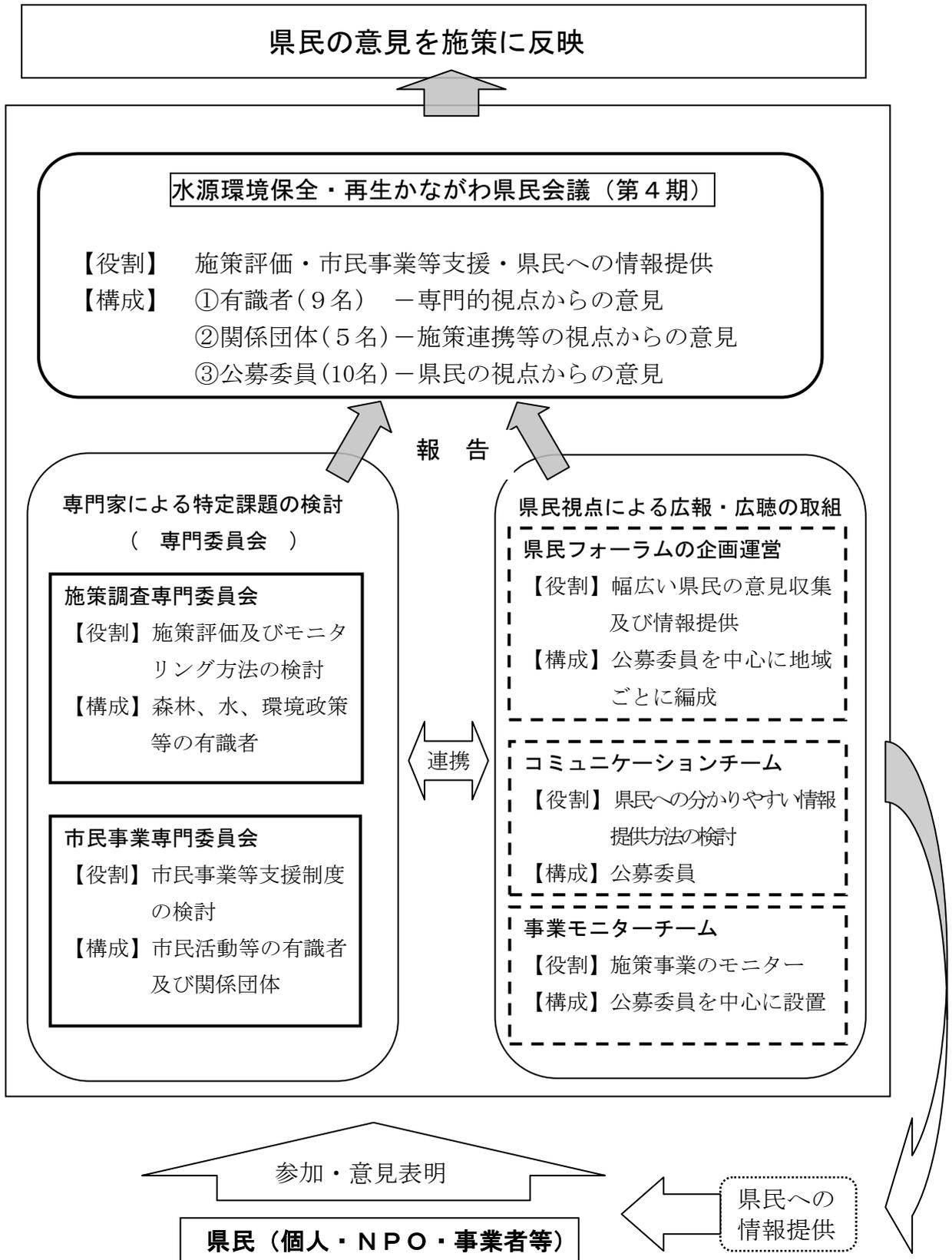
IV 付表

市町村別事業実績一覧、前年度点検結果報告書を踏まえた取り組み状況等

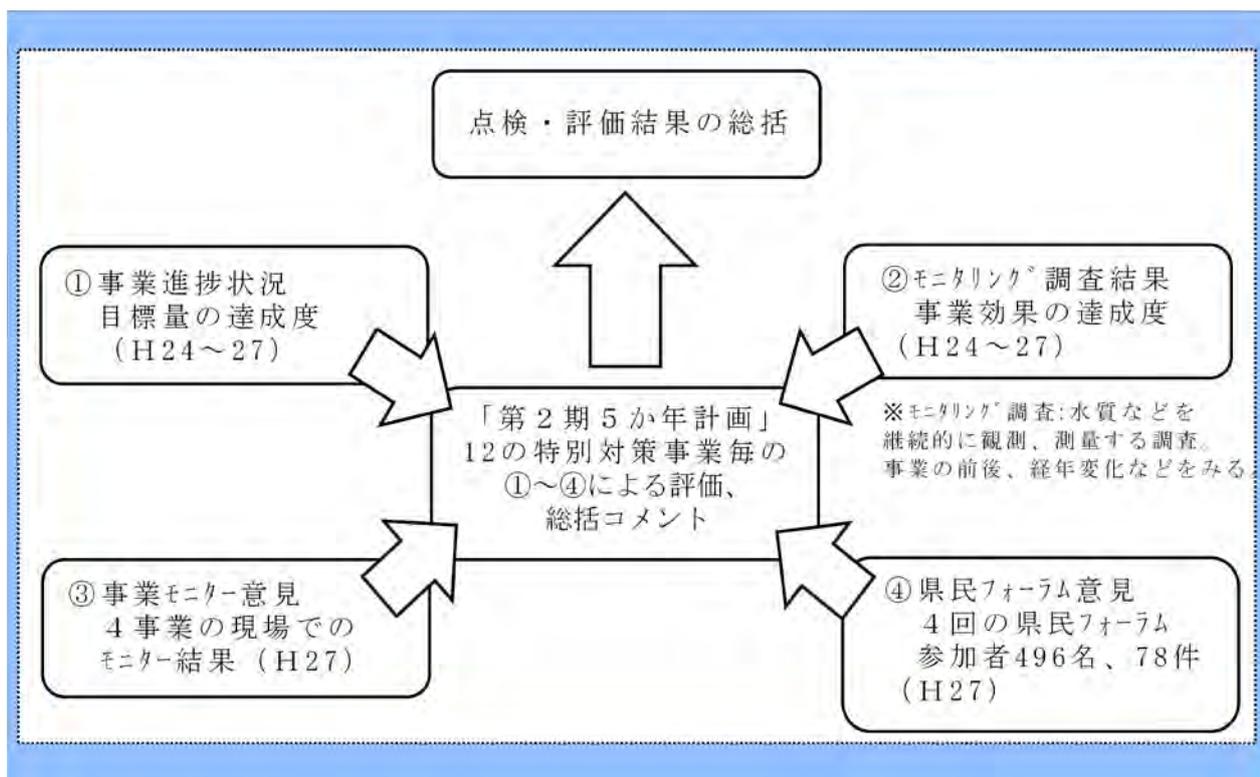
V 付録「総合的な評価(中間評価)報告書」(H27.8) 抜粋

平成27年度に実施した施策の総合的な評価(中間評価)の報告書から、本施策の経緯と特徴、神奈川の水源の状況、総合的指標（2次的アウトカム）の検証に係るモニタリング調査の概要、2次的アウトカムから最終アウトカムまでの中間評価における全体総括などを抜粋して記載している。

# 水源環境保全・再生かながわ県民会議の仕組み



## 点検・評価の仕組み



### ※ 事業進捗状況から見た評価について

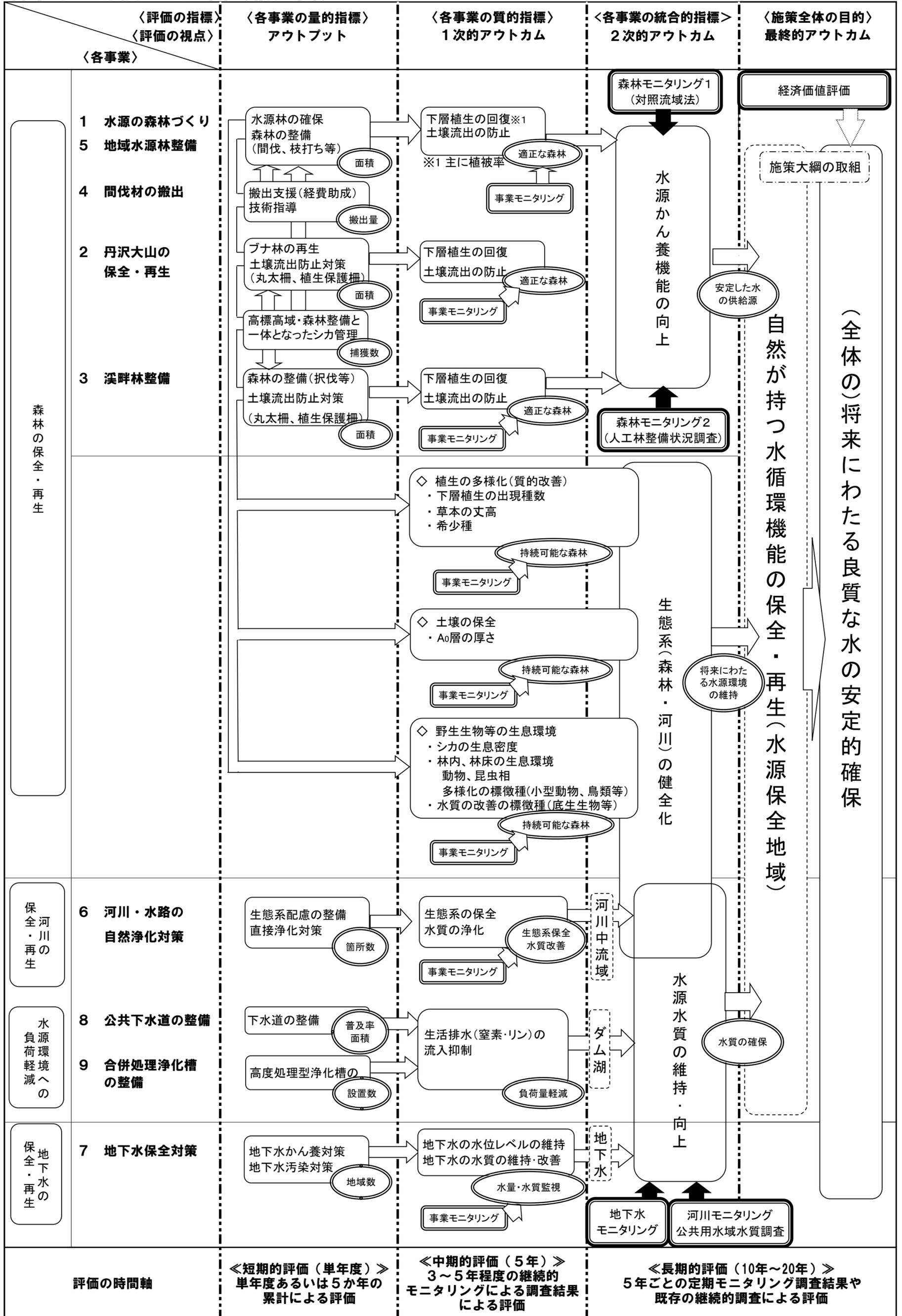
整備量などの数値目標のある事業について、平成24～26年度の事業量の実績に基づき、A～Dの4つのランクで評価した。

A～Dの4つのランク：各事業における「事業進捗状況から見た評価」の基準

※ 次の基準に基づき、A、B、C、Dの4つのランクで評価する。

区分 (1)	平成27年度の実績 (累計)	ランク
・年度ごとの数値目標を設定している事業 (4①)	平成27年度目標の100%以上	A
	平成27年度目標の80%以上100%未満	B
	平成27年度目標の60%以上80%未満	C
	平成27年度目標の60%未満	D
	平成27年度の実績 (累計)	ランク
・5年間 (平成24～28年度) の数値目標を設定している事業 (1、2②、3①②③、5、6①②、8、9、10①②)	目標の80%以上	A
	目標の64%以上80%未満	B
	目標の48%以上64%未満	C
	目標の48%未満	D
区分 (3)	・数値目標の設定がない事業 (2①③④、3④、4②、6③、7、10③、11、12) A、B、C、Dの4つのランクでの評価はしない。 (事業の進捗率によって評価できない上記項目については、実施の有無で評価する。)	

# 各事業の評価の流れ図（構造図）



# 森林の保全・再生の取組による事業効果



# 河川の保全・再生、水源環境への負荷軽減等の取組による事業効果



# 第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画の概要

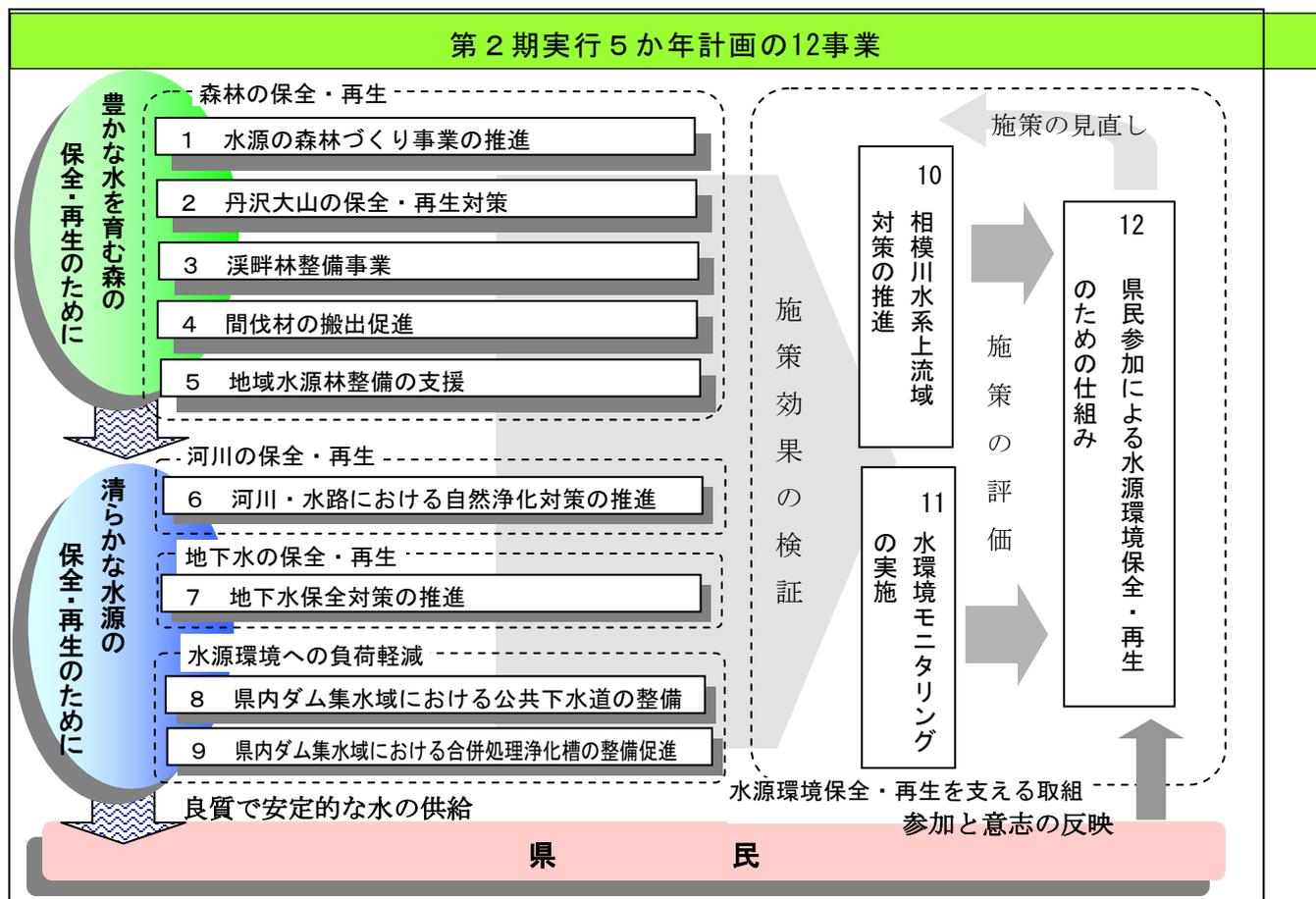
## 第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画

施策大綱に基づき、水源環境保全・再生の取組を効果的かつ着実に推進するため、20年間の第2期の5年間に充実・強化して取り組む特別の対策について明らかにしています。

計画期間	平成24～28年度
対象事業	○水源環境の保全・再生への直接的な効果が見込まれるもので、水源保全地域を中心に実施する取組 ○水源環境保全・再生を支える取組
事業数と新規必要額	12事業 約195億円（5年間の総額） 約39億円（年度平均）



狩川上流（南足柄市）



「第2期5か年計画」の12の特別対策事業のあらまし

( ) 内は、5年間の新規必要額(百万円)

1 水源の森林づくり事業の推進

水源の森林エリア内の私有林の公的管理・支援を一層推進し、水源かん養機能等の公益的機能の高い水源林として整備。

(6,749)

7 地下水保全対策の推進

地下水を主要な水道水源として利用している地域を対象に、各市町村が主体的に取り組む地下水かん養対策や水質保全対策を推進。

( 322)

2 丹沢大山の保全・再生対策

土壌流出防止対策を行うとともに、中高標高域でのシカ捕獲、ブナ林の調査研究や登山道整備などの県民協働の事業への取組。

(1,284)

8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進

県内ダム集水域における生活排水処理率の向上をめざして、各市町村が実施する公共下水道の整備を支援。

(1,371)

3 溪畔林整備事業

水源上流の溪流両岸において、土砂流出防止や水質浄化、生物多様性の保全など森林の有する公益的機能を高度に発揮するための森林整備を実施。

( 80)

9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進

県内ダム集水域における生活排水処理率の向上をめざして、各市町村が実施する高度処理型合併処理浄化槽の整備を支援。

(2,076)

4 間伐材の搬出促進

森林資源の有効利用による森林整備を推進するため、間伐材の集材・搬出に対し支援。

(1,285)

10 相模川水系上流域対策の推進

相模川水系の県外上流域において、神奈川県と山梨県が共同して、効果的な保全対策(森林整備や生活排水対策)を実施。

( 365)

5 地域水源林整備の支援

地域における水源保全を図るため、各市町村が主体的に取り組む水源林の確保・整備を推進するための支援のほか、高齢級の森林の間伐を促進。

(3,140)

11 水環境モニタリング<sup>(注)</sup>の実施

森林、河川のモニタリング等を行い、事業の実施効果を測定するとともに、県民への情報提供を実施。

( 857)

6 河川・水路における自然浄化対策の推進

市町村管理の河川・水路等における良好な水源環境を形成するため、各市町村が主体的に取り組む生態系に配慮した整備や直接浄化等を推進。

(1,771)

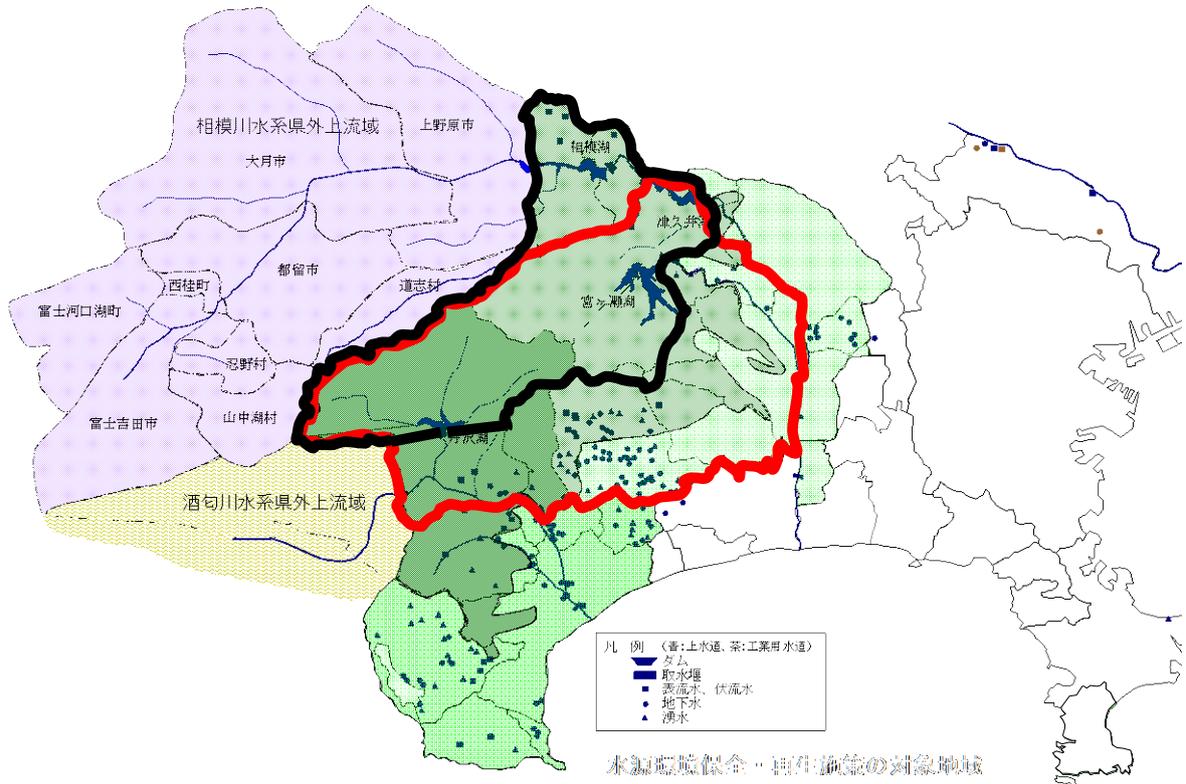
12 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み

水源環境保全・再生の取組を支える県民の意志を施策に反映し、施策の計画や事業の実施等に県民が主体的に参加する仕組みを進展。

( 230)

(注) モニタリング：継続的に観測・測定すること

## 第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画における特別対策事業の対象地域図



凡例	
1 水源の森林づくり事業の推進……	濃い緑色の水源の森林エリア
2 丹沢大山の保全・再生対策……	丹沢大山国定・県立自然公園の特別保護地区・特別地域 (赤枠の丹沢大山自然再生計画の「ブナ林の再生」の中で実施)
3 溪畔林整備事業……	丹沢大山自然再生計画の統合再生流域 (赤枠の丹沢大山自然再生計画の「溪流生態系の再生」の中で実施)
4 間伐材の搬出促進……	濃い緑色 +  薄い緑色の県内水源保全地域
5 地域水源林整備の支援……	濃い緑色 +  薄い緑色の県内水源保全地域
6 河川・水路における自然浄化対策の推進……	相模川水系及び酒匂川水系の取水堰上流域 → 相模川水系及び酒匂川水系の取水堰上流域で国県管理区域を除く区域
7 地下水保全対策の推進……	地下水を主要な水道水源としている地域 (小田原市、秦野市、座間市、南足柄市、足柄上・下郡、愛川町)
8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進……	黒太枠の県内ダム集水域
9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進……	黒太枠の県内ダム集水域 (下水道計画区域を除く)
10 相模川水系上流域対策の推進……	紫色の相模川水系県外上流域+相模川流域
11 水環境モニタリングの実施……	濃い緑色 +  薄い緑色の県内水源保全地域
12 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み……	全県域

## Ⅱ 12の特別対策事業の 点検結果の総括

## 12 の特別対策事業の総括（まとめ）

### 全体の総括（案）

施策の点検・評価の役割を担う県民会議では、事業の進捗状況、モニタリング調査結果、県民視点からの事業モニターや県民フォーラムの意見などを踏まえて多面的な評価を行った。この評価結果を参照しながら事業の実施状況を見ると、事業評価の仕組みが機能し、概ね適切に事業が進められていると評価できる。

第2期5か年計画における平成27年度の実績及びこれまで4年間の事業進捗状況は、森林関係事業については、荒廃が進んでいた私有林で重点的に整備を行うとともに、丹沢大山地域でのシカ管理や土壌流出防止対策、溪畔林整備、ブナ林再生のための調査研究など、様々な取組を進め、全体としては計画通りに進捗している。この結果、下層植生が回復し、土壌保全が図られるなどの成果が出てきており、概ね順調に進められていると評価できる。今後は、これまで重点的に取り組んできた私有林整備に加えて、高標高域の県有林等も含め、森林全体を見据えた総合的な観点から対策を推進すべきである。

水関係事業については、河川・水路の自然浄化対策、地下水の保全対策、県内ダム集水域における公共下水道や合併処理浄化槽整備などを着実に進めてきた結果、河川の自然環境の改善や生活排水処理の進展など、一定の成果が見られている。河川や地下水の保全・再生に関しては概ね計画通りに進捗しているが、水源環境への負荷軽減（県内ダム集水域における公共下水道及び合併処理浄化槽の整備促進）に関しては、市町と連携して、より一層の整備促進を図る必要がある。

また、第2期からの新たな取組として、森林組合等が行う長期施業受委託による水源林の公的管理・支援や丹沢大山地域におけるワイルドライフ・レンジャーによるシカ管理捕獲、山梨県との共同事業など、第1期5年間の取組や課題を踏まえた事業を始めたことは評価できる。今後も、これらの事業を含めた関連事業を着実に実施していくことが必要である。

水源環境保全・再生事業のあり方として、気候変動による災害頻発への懸念や台風等による災害の発生状況を踏まえ、森林の生育基盤である土壌の保全を図っていくことや、水の十分な管理や水質保持の観点から水と土砂を一体のものとして施策を考えていくことが重要な課題であり、その観点からも県の関係部署において一層の連携を図っていくことが求められる。なお、事業評価の仕組みが十分に機能し、実績を有することが、現行事業の有効性や今後の事業のあり方を幅広く検討する上での前提条件として重要である。

県民会議では、第2期からは、新たな市民事業支援補助金制度の運用や効果的な事業評価のための事業モニターの改善など新たな取組を進めており、今後はより一層活動内容を充実させていく必要がある。

事業評価においては、計画目標の達成度と併せて内容面の評価が求められ、その結果としてどのようなことが見えてきたのかなど、モニタリングの結果をもとに定量的あるいは定性的に総合的な評価を行うことが必要である。そこで、平成27年度には、それまで8年間の取組実績やモニタリング調査の結果をもとに、各事業の統合的指標（2次的アウトカム）や施策全体の目的（最終的アウトカム）による評価を含む施策の総合的な評価（中間評価）を実施して報告書を取りまとめ、最終的アウトカムについては「現時点では暫定的ではあるが、水循環機能の保全・再生が図られていく過程にある」と評価したところである。（中間評価の抜粋はV章に掲載）

平成27年度に実施した各種モニタリングの結果は、昨年取りまとめた総合的な評価（中間評価）で示した評価結果の方向に沿っていると考えられる。

これまでの各種のモニタリングにより、2次的アウトカムに関するデータや新たな知見も蓄積されてきており、今後とも、総合的な評価も視野に入れながら毎年度の事業の点検・評価を進めていく。

水源環境保全・再生事業会計（特別会計）計上事業に係る24～27年度の実績の状況

施策名の(◆)印は、市町村交付金対象事業		24年度執行額	25年度執行額	26年度執行額
<b>森林の保全・再生</b>		<b>【 25億1,706万円】</b>	<b>【 26億7,075万円】</b>	<b>【 29億5,433万円】</b>
水源の森林づくり事業の推進	13億 981万円 (一般会計分含め26億3,845万円) 水源林確保 1,339ha 水源林整備 2,034ha ※ 一般会計計上分を含む 森林塾(新規就労者の育成) 9人	14億 493万円 (一般会計分含め27億 831万円) 水源林確保 1,181ha 水源林整備 2,105ha ※ 一般会計計上分を含む 森林塾(新規就労者の育成)10人	15億9,398万円 (一般会計分含め29億 935万円) 水源林確保 1,007ha 水源林整備 2,400ha ※ 一般会計計上分を含む。 森林塾の実施 12人	
丹沢大山の保全・再生対策	2億7,915万円 中高標高域シカ捕獲、生息調査 土壌流出防止 18.5ha ブナ林等の調査研究	3億1,464万円 中高標高域シカ捕獲、生息調査 土壌流出防止 23.4ha ブナ林等の調査研究	3億8,668万円 中高標高域でのシカ捕獲等 土壌流出防止対策 10.6ha ブナ林等の調査研究	
溪畔林整備事業	2,523万円 森林整備 6.3ha 植生保護柵の設置 628m 丸太柵等の設置 358m モニタリング調査	3,244万円 森林整備 3.1ha 植生保護柵の設置 989m 丸太柵等の設置 138m モニタリング調査	3,360万円 森林整備 2.6ha 植生保護柵の設置 292m 丸太柵等の設置 373m モニタリング調査	
間伐材の搬出促進	1億5,865万円 間伐材搬出量 13,657m <sup>3</sup> 整備促進面積 354ha	1億4,507万円 間伐材搬出量 11,001m <sup>3</sup> 整備促進面積 296ha	1億9,851万円 事業量 13,928m <sup>3</sup> 整備促進面積 314ha	
地域水源林整備の支援(◆)	7億4,420万円 私有林確保 335ha 私有林整備 261ha 市町村有林等の整備 113ha 高齢級間伐 51ha	7億7,365万円 私有林確保 268ha 私有林整備 325ha 市町村有林等の整備 99ha 高齢級間伐 21ha	7億4,155万円 私有林確保 207ha 私有林整備 256ha 市町村有林等の整備 154ha 高齢級間伐 20ha	
<b>河川の保全・再生</b>		<b>【 1億 579万円】</b>	<b>【 1億8,216万円】</b>	<b>【 2億2,850万円】</b>
河川・水路における自然浄化対策の推進(◆)	1億 579万円 河川等の整備 3箇所 直接浄化対策 3箇所 効果検証 (新規3) 相模湖における直接浄化対策	1億8,216万円 河川等の整備 4箇所 直接浄化対策 4箇所 効果検証 (新規1 継続3) 相模湖における直接浄化対策	2億2,850万円 河川等の整備 6箇所 直接浄化対策 6箇所 効果検証 (新規3 継続3)	
<b>地下水の保全・再生</b>		<b>【 5,930万円】</b>	<b>【 5,400万円】</b>	<b>【 6,580万円】</b>
地下水保全対策の推進(◆)	5,930万円 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	5,400万円 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	6,580万円 かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	
<b>水源環境への負荷軽減</b>		<b>【 4億8,050万円】</b>	<b>【 4億8,760万円】</b>	<b>【 7億3,380万円】</b>
県内ダム集水域における公共下水道の整備促進(◆)	3億2,350万円 下水道整備 30.0ha 下水道普及率 55.1%	3億2,120万円 下水道整備 26.3ha 下水道普及率 55.9%	4億6,870万円 下水道整備 22.9ha 下水道普及率 58.6%	
県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進(◆)	1億5,700万円 整備基数 86基(延べ人槽649人)	1億6,640万円 整備基数 83基(延べ人槽511人)	2億6,510万円 整備基数 91基(延べ人槽612人)	
<b>水源環境保全・再生を支える取組み</b>		<b>【 1億6,964万円】</b>	<b>【 3億6,557万円】</b>	<b>【 4億4,723万円】</b>
相模川水系上流域対策の推進	2,959万円 荒廃森林再生事業 133.1ha 広葉樹の森づくり事業 3.4ha 生活排水対策(設備の設計)	1億2,133万円 荒廃森林再生事業 301.5ha 広葉樹の森づくり事業 2.7ha 生活排水対策(設備の設置工事)	5,521万円 荒廃森林再生事業 413.1ha 広葉樹の森づくり事業 4.1ha 生活排水対策(設備の稼働)	
水環境モニタリングの実施	1億 614万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	2億 932万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	3億2,533万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 人工林調査 情報提供	
県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	3,390万円 県民会議の運営等 市民事業等の支援	3,491万円 県民会議の運営等 市民事業等の支援	6,668万円 県民会議の運営 市民事業等の支援	
<b>新たな財源を活用する事業費の計</b>	<b>33億3,229万円</b>	<b>37億6,009万円</b>	<b>44億2,967万円</b>	
<b>個人県民税超過課税相当額</b>	<b>40億 442万円</b>	<b>40億8,018万円</b>	<b>39億 895万円</b>	

27年度執行額	第2期計画執行額(4年間) (H24~27)(A)	第2期計画の内容 (5年間計(H24~28))(B)	進捗率 (A/B)
【32億2,604万円】	【113億6,820万円】	【125億3,800万円】 (年平均25億760万円)	90.7%
17億9,887万円 (一般会計分含め29億7,807万円)	61億760万円 (一般会計分含め143億5,542万円)	67億4,900万円 (一般会計分含め134億900万円)	90.5%
水源林確保 920ha 水源林整備 2,381ha ※一般会計計上分を含む。 森林塾の実施 11人	水源林確保 4,448ha 水源林整備 8,920ha ※一般会計計上分を含む。 森林塾の実施 42人	水源林確保 5,540ha 水源林整備 11,067ha ※一般会計計上分を含む。 森林塾の実施 75人	80.3% 80.6% 56.0%
4億2,875万円	14億923万円	12億8,400万円	109.8%
中高標高域でのシカ捕獲等 土壌流出防止対策 7.7ha ブナ林等の調査研究	土壌流出防止対策 60.2ha ブナ林等の調査研究	中高標高域でのシカ捕獲等 土壌流出防止対策 50ha ブナ林等の調査研究	120.4%
4,663万円	1億3,792万円	8,000万円	172.4%
面積 17.1ha 森林整備 5.8ha 植生保護柵の設置 244m 丸太柵等の設置 892m	面積 116.9ha 森林整備 17.8ha 植生保護柵の設置 2,153m 丸太柵等の設置 1,761m	面積 100ha 森林整備 15ha 植生保護柵の設置 2,500m 丸太柵等の設置 1,600m	116.9% 118.7% 86.1% 110.1%
2億8,191万円	7億8,415万円	12億8,500万円	61.0%
事業量 19,438m <sup>3</sup> 整備促進面積 435ha	事業量 58,025m <sup>3</sup> 整備促進面積 1,399ha	事業量 107,500m <sup>3</sup> 整備促進面積 3,660ha	54.0% 38.2%
6億6,986万円	29億2,927万円	31億4,000万円	93.3%
私有林確保 191ha 私有林整備 292ha 市町村有林等の整備 106ha 高齢級間伐 24ha	私有林確保 1,000ha 私有林整備 1,134ha 市町村有林等の整備 472ha 高齢級間伐 115ha	私有林確保 1,014ha 私有林整備 1,376ha 市町村有林等の整備 584ha 高齢級間伐 500ha	98.6% 82.4% 80.8% 23.0%
【3億2,830万円】	【8億4,475万円】	【17億7,100万円】 (年平均3億5,420万円)	47.7%
3億2,830万円	8億4,475万円	17億7,100万円	47.7%
河川等の整備 7箇所 直接浄化対策 7箇所 効果検証 (新規2:継続5)	河川等の整備 9箇所 直接浄化対策 9箇所 効果検証	河川等の整備 7箇所 直接浄化対策 7箇所 相模湖における直接浄化対策	128.6% 128.6%
【7,470万円】	【2億5,380万円】	【3億2,200万円】 (年平均6,440万円)	78.8%
7,470万円	2億5,380万円	3億2,200万円	78.8%
かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	かん養対策・汚染対策の実施 地下水モニタリング等の実施	地下水保全計画の策定 地下水かん養対策、汚染対策 地下水モニタリング等の実施	
【5億5,660万円】	【22億5,850万円】	【34億4,700万円】 (年平均6億8,940万円)	65.5%
3億4,370万円	14億5,710万円	13億7,100万円	106.3%
下水道整備 23.3ha 下水道普及率 59.5%	下水道整備 102.5ha 下水道普及率 59.5%	下水道整備 208.7ha 下水道普及率 86%	18.7%
2億1,290万円	8億140万円	20億7,600万円	38.6%
市町村設置型 97基(延べ人槽 741人)	市町村設置型 357基	整備基数 1,090基	32.8%
【2億8,202万円】	【12億6,446万円】	【14億5,200万円】 (年平均2億9,040万円)	87.1%
3,861万円	2億4,475万円	3億6,500万円	67.1%
荒廃森林再生事業 157.3ha 広葉樹の森づくり事業 0.4ha 生活排水対策(設備の稼働)	荒廃森林再生事業 1,005.0ha 広葉樹の森づくり事業 10.6ha 生活排水対策(設備の稼働)	荒廃森林再生事業 1,280ha 広葉樹の森づくり事業 10ha 生活排水対策(0.6mg/l)	78.5% 106.0%
2億343万円	8億4,423万円	8億5,700万円	98.5%
森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 人工林調査 情報提供	森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供	森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供 酒匂川水系上流域の現状把握	
3,997万円	1億7,547万円	2億3,000万円	76.3%
県民会議の運営 市民事業等の支援	県民会議の運営 市民事業等の支援	県民会議の運営 市民事業等の支援	
44億6,766万円	159億8,972万円 (年平均39億9,743万円)	195億3,000万円 (年平均39億600万円)	81.9%
39億5,510万円	159億4,224万円 (年平均39億8,556万円)	※年度ごとに端数処理しているため、 合計は一致しない。	

予算執行状況の内訳について

(単位：万円)

	24年度執行額	25年度執行額	26年度執行額	27年度執行額	24～27年度 単位当たり 執行額
<b>1 水源の森林づくり事業の推進</b>	<b>130,981</b>	<b>140,493</b>	<b>159,398</b>	<b>179,887</b>	
水源林の確保【特別会計分】	29,792	35,208	39,185	41,722	70.1万円/ha 541.2万円/ha 85.8万円/ha 1.2万円/ha
水源林の整備【特別会計分】(森林整備)	82,432	79,308	87,284	105,984	60.8万円/ha
(管理道、測量・調査等)	9,790	16,652	24,155	23,237	—
(水源林事業推進費)	4,558	4,240	2,574	2,870	—
かながわ森林塾の実施	4,409	5,085	6,200	6,073	119万/人 (新規就労)
<b>2 丹沢大山の保全・再生対策</b>	<b>27,915</b>	<b>31,464</b>	<b>38,668</b>	<b>42,875</b>	
中高標高域でのシカ捕獲及び生息環境調査	8,777	10,286	17,871	17,776	—
土壌流出防止対策の実施	11,932	12,497	13,993	15,933	903万円/ha
ブナ林等の調査研究	5,414	4,132	3,760	4,359	—
県民連携・協働事業	1,790	4,549	3,044	4,806	—
<b>3 溪畔林整備事業</b>	<b>2,523</b>	<b>3,244</b>	<b>3,360</b>	<b>4,663</b>	
森林整備	319	125	210	717	77万円/ha
植生保護柵の設置	600	810	1,176	367	1万円/m
丸太柵等の設置	327	134	320	848	1万円/m
モニタリング調査等	1,276	2,175	1,654	2,731	—
<b>4 間伐材の搬出促進</b>	<b>15,865</b>	<b>14,507</b>	<b>19,851</b>	<b>28,191</b>	
間伐材の搬出支援	14,121	12,843	17,601	25,060	1万円/ha
生産指導活動の推進等	1,743	1,664	2,250	3,130	—
<b>5 地域水源林整備の支援</b>	<b>74,420</b>	<b>77,365</b>	<b>74,155</b>	<b>66,986</b>	
私有林の確保・整備	49,462	55,650	49,623	53,341	183万円/ha
市町村有林等の整備	23,378	20,970	23,817	12,959	172万円/ha
高齢級間伐の促進	1,580	745	715	686	32万円/ha
<b>6 河川・水路における自然浄化対策の推進</b>	<b>10,579</b>	<b>18,216</b>	<b>22,850</b>	<b>32,830</b>	
生態系に配慮した河川・水路等の整備	9,570	16,180	22,430	32,390	2,599万円/箇所
河川・水路等における直接浄化対策	370	370	420	450	201万円/箇所
相模湖における直接浄化対策	639	1,666	0	0	—
<b>7 地下水保全対策の推進</b>	<b>5,930</b>	<b>5,400</b>	<b>6,580</b>	<b>7,470</b>	
地下水保全計画の策定	0	0	0	0	—
地下水かん養対策	440	60	440	1,940	222万円/市町
地下水汚染対策	1,670	1,680	1,650	1,720	840万円/市町
地下水モニタリング	3,820	3,660	4,490	3,810	395万円/市町
<b>8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進</b>	<b>32,350</b>	<b>32,120</b>	<b>46,870</b>	<b>34,370</b>	1,422万円/ha
<b>9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進</b>	<b>15,700</b>	<b>16,640</b>	<b>26,510</b>	<b>21,290</b>	224万円/基
<b>10 相模川水系上流域対策の推進</b>	<b>2,959</b>	<b>12,133</b>	<b>5,521</b>	<b>3,861</b>	
荒廃森林再生事業	2,187	3,428	3,917	2,487	—
広葉樹の森づくり事業	325	304	542	88	—
生活排水対策	446	8,400	1,061	1,285	—
<b>11 水環境モニタリングの実施</b>	<b>10,614</b>	<b>20,932</b>	<b>32,533</b>	<b>20,343</b>	
森林のモニタリング調査	9,209	11,446	21,294	17,876	—
河川のモニタリング調査等	1,404	9,485	11,239	2,467	—
<b>12 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み</b>	<b>3,390</b>	<b>3,491</b>	<b>6,668</b>	<b>3,997</b>	
「水源環境保全・再生かながわ県民会議」の運営等	2,417	2,587	5,645	2,965	—
市民事業等の支援	972	904	1,022	1,032	41万円/団体
<b>合 計</b>	<b>333,229</b>	<b>376,009</b>	<b>442,967</b>	<b>446,766</b>	

※ 万円未満切り捨てのため、合計は一致しない。

平成24年度歳入・歳出の状況																					
<b>【歳入】</b>	<b>【歳出】</b>																				
<table border="1"> <tr> <td>水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)</td> <td>4,004,425千円</td> </tr> <tr> <td>基金運用益</td> <td>283千円</td> </tr> <tr> <td>寄附金</td> <td>114千円</td> </tr> <tr> <td>預金利子等</td> <td>403千円</td> </tr> <tr> <td>基金等</td> <td>670,810千円</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>4,676,035千円</b></td> </tr> </table>	水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	4,004,425千円	基金運用益	283千円	寄附金	114千円	預金利子等	403千円	基金等	670,810千円	<b>合計</b>	<b>4,676,035千円</b>	<table border="1"> <tr> <td>特別対策事業 事業費</td> <td>3,332,299千円</td> </tr> <tr> <td>基金等</td> <td>1,343,736千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※25年度以降の財源として活用</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>4,676,035千円</b></td> </tr> </table>	特別対策事業 事業費	3,332,299千円	基金等	1,343,736千円	※25年度以降の財源として活用		<b>合計</b>	<b>4,676,035千円</b>
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	4,004,425千円																				
基金運用益	283千円																				
寄附金	114千円																				
預金利子等	403千円																				
基金等	670,810千円																				
<b>合計</b>	<b>4,676,035千円</b>																				
特別対策事業 事業費	3,332,299千円																				
基金等	1,343,736千円																				
※25年度以降の財源として活用																					
<b>合計</b>	<b>4,676,035千円</b>																				
→																					
平成25年度歳入・歳出の状況																					
<b>【歳入】</b>	<b>【歳出】</b>																				
<table border="1"> <tr> <td>水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)</td> <td>4,080,184千円</td> </tr> <tr> <td>基金運用益</td> <td>690千円</td> </tr> <tr> <td>寄附金</td> <td>202千円</td> </tr> <tr> <td>預金利子等</td> <td>2,820千円</td> </tr> <tr> <td>基金等</td> <td>1,343,336千円</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>5,427,232千円</b></td> </tr> </table>	水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	4,080,184千円	基金運用益	690千円	寄附金	202千円	預金利子等	2,820千円	基金等	1,343,336千円	<b>合計</b>	<b>5,427,232千円</b>	<table border="1"> <tr> <td>特別対策事業 事業費</td> <td>3,760,093千円</td> </tr> <tr> <td>基金等</td> <td>1,667,139千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※26年度以降の財源として活用</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>5,427,232千円</b></td> </tr> </table>	特別対策事業 事業費	3,760,093千円	基金等	1,667,139千円	※26年度以降の財源として活用		<b>合計</b>	<b>5,427,232千円</b>
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	4,080,184千円																				
基金運用益	690千円																				
寄附金	202千円																				
預金利子等	2,820千円																				
基金等	1,343,336千円																				
<b>合計</b>	<b>5,427,232千円</b>																				
特別対策事業 事業費	3,760,093千円																				
基金等	1,667,139千円																				
※26年度以降の財源として活用																					
<b>合計</b>	<b>5,427,232千円</b>																				
→																					
平成26年度歳入・歳出の状況																					
<b>【歳入】</b>	<b>【歳出】</b>																				
<table border="1"> <tr> <td>水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)</td> <td>3,908,953千円</td> </tr> <tr> <td>基金運用益</td> <td>898千円</td> </tr> <tr> <td>寄附金</td> <td>201千円</td> </tr> <tr> <td>預金利子等</td> <td>445千円</td> </tr> <tr> <td>基金等</td> <td>1,667,540千円</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>5,578,037千円</b></td> </tr> </table>	水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	3,908,953千円	基金運用益	898千円	寄附金	201千円	預金利子等	445千円	基金等	1,667,540千円	<b>合計</b>	<b>5,578,037千円</b>	<table border="1"> <tr> <td>特別対策事業 事業費</td> <td>4,429,679千円</td> </tr> <tr> <td>基金等</td> <td>1,148,358千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※27年度以降の財源として活用</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>5,578,037千円</b></td> </tr> </table>	特別対策事業 事業費	4,429,679千円	基金等	1,148,358千円	※27年度以降の財源として活用		<b>合計</b>	<b>5,578,037千円</b>
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	3,908,953千円																				
基金運用益	898千円																				
寄附金	201千円																				
預金利子等	445千円																				
基金等	1,667,540千円																				
<b>合計</b>	<b>5,578,037千円</b>																				
特別対策事業 事業費	4,429,679千円																				
基金等	1,148,358千円																				
※27年度以降の財源として活用																					
<b>合計</b>	<b>5,578,037千円</b>																				
→																					
平成27年度歳入・歳出の状況																					
<b>【歳入】</b>	<b>【歳出】</b>																				
<table border="1"> <tr> <td>水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)</td> <td>3,955,105千円</td> </tr> <tr> <td>基金運用益</td> <td>497千円</td> </tr> <tr> <td>寄附金</td> <td>1,247千円</td> </tr> <tr> <td>預金利子等</td> <td>1,013千円</td> </tr> <tr> <td>基金等</td> <td>1,148,358千円</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>5,106,220千円</b></td> </tr> </table>	水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	3,955,105千円	基金運用益	497千円	寄附金	1,247千円	預金利子等	1,013千円	基金等	1,148,358千円	<b>合計</b>	<b>5,106,220千円</b>	<table border="1"> <tr> <td>特別対策事業 事業費</td> <td>4,467,666千円</td> </tr> <tr> <td>基金等</td> <td>638,554千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※28年度以降の財源として活用</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>5,106,220千円</b></td> </tr> </table>	特別対策事業 事業費	4,467,666千円	基金等	638,554千円	※28年度以降の財源として活用		<b>合計</b>	<b>5,106,220千円</b>
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	3,955,105千円																				
基金運用益	497千円																				
寄附金	1,247千円																				
預金利子等	1,013千円																				
基金等	1,148,358千円																				
<b>合計</b>	<b>5,106,220千円</b>																				
特別対策事業 事業費	4,467,666千円																				
基金等	638,554千円																				
※28年度以降の財源として活用																					
<b>合計</b>	<b>5,106,220千円</b>																				
→																					

※ 千円未満切り捨てのため、合計は一致しない。

水源環境保全・再生事業の進捗状況一覧

第2期5か年計画の特別対策事業		5か年(H24～H28)の目標等	24年度進捗率	評価	25年度進捗率(累計)	評価	
森林の保全・再生		【125億3,800万円】(年平均25億800万円)	20.1%	区分	41.4%	区分	
1	水源の森林づくり事業の推進	67億4,900万円 (一般会計計上分含め134億900万円) ① 水源林確保 5,540ha ② 水源林整備 11,067ha ※一般会計計上分を含む。 ③ 森林塾(新規就労者の育成) 75人	19.4%	① 24.2% ② 18.4% ③ 12.0%	2 A 2 B 2 C	① 45.5% ② 37.4% ③ 25.3%	2 A 2 B 2 C
2	丹沢大山の保全・再生対策	12億8,400万円 ① 中高標高域シカ捕獲、生息環境調査 ② 土壌流出防止対策 50ha ③ ブナ林等の調査研究 ④ 県民連携・協働事業	21.7%	① 捕獲実施 ② 37.0% ③ 調査・施設 ④ 支援実施	3 — 2 A 3 — 3 —	① 捕獲実施 ② 83.8% ③ 調査・施設 ④ 支援実施	3 — 2 A 3 — 3 —
3	溪畔林整備事業	8,000万円 ① 森林整備 15ha ② 植生保護柵の設置 2,500m ③ 丸太柵等の設置 1,600m ④ モニタリング調査	31.5%	① 42.0% ② 25.1% ③ 22.4% ④ 調査実施	2 A 2 A 2 A 3 —	① 62.7% ② 64.7% ③ 31.0% ④ 調査実施	2 A 2 A 2 C 3 —
4	間伐材の搬出促進	12億8,500万円 ① 間伐材の搬出支援 107,500m <sup>3</sup> (H24:16,500m <sup>3</sup> 、H25:19,000m <sup>3</sup> 、H26:21,500m <sup>3</sup> 、 H27:24,000m <sup>3</sup> 、H28:26,500m <sup>3</sup> ) ② 生産指導活動の推進	12.3%	① 12.7% (82.8%) ② 指導実施	1 B 3 —	① 22.9% (57.9%) ② 指導実施	1 D 3 —
5	地域水源林整備の支援	31億4,000万円 ① 私有林の確保 1,014ha(◆) ② 私有林の整備 1,376ha(◆) ③ 市町村有林等の整備 584ha(◆) ④ 高齢級間伐 500ha	23.7%	① 33.0% ② 19.0% ③ 19.3% ④ 10.2%	2 A 2 B 2 B 2 D	① 59.5% ② 42.6% ③ 36.3% ④ 14.4%	2 A 2 A 2 B 2 D
河川の保全・再生		【17億7,100万円】(年平均3億5,400万円)	6.0%		16.3%		
6	河川・水路における自然浄化対策の推進(◆)	17億7,100万円 ① 生態系に配慮した河川等の整備 7箇所 ② 直接浄化対策 7箇所 ③ 相模湖における直接浄化対策	6.0%	① 42.9% ② 42.9%	2 A 2 A	① 57.1% ② 57.1%	2 A 2 A
地下水の保全・再生		【3億2,200万円】(年平均6,400万円)	18.4%		35.2%		
7	地下水保全対策の推進(◆)	3億2,200万円 ① 地下水保全計画の策定 ② 地下水かん養対策 ③ 地下水汚染対策 ④ 地下水モニタリング	18.4%	① 0市町 ② 3市町 ③ 2市町 ④ 10市町	3 — 3 — 3 — 3 —	① 0市町 ② 4市町 ③ 2市町 ④ 10市町	3 — 3 — 3 — 3 —
水源環境への負荷軽減		【34億4,700万円】(年平均6億8,900万円)	13.9%		28.1%		
8	県内ダム集水域における公共下水道整備の促進(◆)	13億7,100万円 ① 下水道普及率 53.4%(23年度末)⇒86% 32.6ポイントUP (整備面積換算86%⇔208.7ha)	23.6%	① 5.2%	2 D	① 47.0% 7.7%	2 D
9	県内ダム集水域における合併処理浄化槽整備の促進(◆)	20億7,600万円 ① 整備基数 1,090基	7.6%	① 7.9%	2 D	① 15.6% 15.5%	2 D
水源環境保全・再生を支える取り組み		【14億5,200万円】(年平均2億9,000万円)	11.7%		36.9%		
10	相模川水系上流域対策の推進	3億6,500万円 ① 荒廃森林再生事業 ② 広葉樹の森づくり事業 ③ 生活排水対策	8.1%	① 10.4% ② 34.0% ③ 実施設計	2 D 2 A 3 —	① 34.0% ② 61.0% ③ 設置工事	2 B 2 A 3 —
11	水環境モニタリングの実施	8億5,700万円 ① 森林のモニタリング調査 ② 河川のモニタリング調査 ③ 情報提供	12.4%	① 実施 ② 実施 ③ 実施	3 — 3 — 3 —	① 実施 ② 実施 ③ 実施	3 — 3 — 3 —
12	県民参加による仕組み	2億3,000万円 ① 県民会議の運営等 ② 市民事業等の支援	14.7%	① 運営 ② 実施	3 — 3 —	① 運営 ② 実施	3 — 3 —
新たな財源を活用する事業の計		195億3,000万円(年平均39億600万円)	17.1%		36.3%		
個人県民税超過課税相当額			20.5%		41.4%		

※ 施策名の(◆)印は、市町村交付金対象事業。

※ 評価区分1、2の事業については、0-4ページ記載の基準によりA～Dのランクで評価。

3の事業は「5か年計画」に数値目標の設定がない事業のため、A～Dランクでの評価はしていない。

26年度進捗率 (累計)		評価		27年度進捗率 (累計)		評価	
64.9%		区分	ランク	90.7%		区分	ランク
63.8%				90.5%			
①	61.1%	2	A	①	80.3%	2	A
②	59.1%	2	B	②	80.6%	2	A
③	41.3%	2	C	③	56.0%	2	C
76.4%				109.8%			
①	捕獲実施	3	—	①	捕獲実施	3	—
②	105.0%	2	A	②	120.4%	2	A
③	調査・施設	3	—	③	調査・施設	3	—
④	支援実施	3	—	④	支援実施	3	—
114.1%				172.4%			
①	80.0%	2	A	①	118.7%	2	A
②	76.4%	2	A	②	86.1%	2	A
③	54.3%	2	B	③	110.1%	2	A
④	調査実施	3	—	④	調査実施	3	—
39.1%				61.0%			
①	35.9% (64.8%)	1	C	①	54.0% (81.0%)	1	B
②	指導実施	3	—	②	指導実施	3	—
72.0%				93.3%			
①	79.8%	2	A	①	98.6%	2	A
②	61.2%	2	A	②	82.4%	2	A
③	62.7%	2	A	③	80.8%	2	A
④	18.2%	2	D	④	23.0%	2	D

29.2%				47.7%			
29.2%				47.7%			
①	100.0%	2	A	①	128.6%	2	A
②	100.0%	2	A	②	128.6%	2	A

55.6%				78.8%			
55.6%				78.8%			
①	0市町	3	—	①	0市町	3	—
②	3市町	3	—	②	4市町	3	—
③	2市町	3	—	③	2市町	3	—
④	10市町	3	—	④	10市町	3	—

49.4%				65.5%			
81.2%				106.3%			
①	16.0%	2	D	①	18.7%	2	D
28.3%				38.6%			
①	23.9%	2	D	①	32.8%	2	D

67.7%				87.1%			
56.5%				67.1%			
①	66.2%	2	A	①	78.5%	2	B
②	102.0%	2	A	②	106.0%	2	A
③	設備稼働	3	—	③	設備稼働	3	—
74.8%				98.5%			
①	実施	3	—	①	実施	3	—
②	実施	3	—	②	実施	3	—
③	実施	3	—	③	実施	3	—
58.9%				76.3%			
①	運営	3	—	①	運営	3	—
②	実施	3	—	②	実施	3	—

59.0%

81.9%

61.4%

81.6%

**(進捗状況の補足説明)**

- 平成27年度までの12事業全体の事業費の執行状況は、5か年計画の4年目となるため80%が目安となるが、82%と計画通りとなっている。
- 1③「森林塾」は、修了者としては必要人数を輩出していることから、引き続き、就労に結びつける必要がある。
- 3③「丸太柵等の設置」は、溪畔林整備地での実際の現地状況に応じた工種、必要量を施工しているため、平成27年度は施工延長が増えた。
- 4①「間伐材の搬出支援」は、搬出に取り組む事業者の増加や技術力の向上等に伴い搬出量も増加傾向にあり、事業の成果が現れてきている。
- 5④「高齢級間伐」は、当初予定箇所において所有者希望により長期施業受委託への移行が見られるなどしていることから、状況分析を行い、適正な事業量等を精査する必要がある。
- 8「県内ダム集水域における公共下水道整備の促進」は、道路境界未確定問題や整備困難箇所への対応を図る必要があり、進捗に影響している。引き続き、市と連携して整備促進を図る必要がある。
- 9「県内ダム集水域における合併処理浄化槽整備の促進」は、地域により進捗状況や整備促進上の課題が異なることから、地域の実情に応じたきめ細かい支援の必要がある。